



# <思考力>

スイッチの活動主旨の一つとして、「思考力を育てる！」があります。

思考力=考える力。「問題に取り組む力」「社会で必要とされる問題解決力」の事を示します。

### <思考力のない人の特徴>

- なんでもすぐに聞いてしまう。
- 思いつきで行動してしまう。
- 段取りが悪く、並列で作業するのが苦手。
- 話を伝えるのが苦手。

この特徴を持った子は多いですよ！  
でも、いかに経験を重ね、様々な状況に慣れるかで  
個人差はありますが、スキルアップは望めます☆

※ これらが苦手な人は一般的にも少なくないですよ～。  
と、思うと度合いはあるかもしれませんが、特別特性でもないような…。

一般的な思考力の育て方は、  
なかなか高度です((+ +))  
(ネット調べ)

スイッチでは、「自分のやるべき事に向き合う力。」

「自分の状況を知る事。からの 周りの状況を見て行動する事。」

「経験を活かす事」 の意味合いを目標としています。

### <スイッチの方法>

困った時…



「答えを言わず」に、「考えよう！」の一言で、  
「自分で考えて」何とかしています！

注) 困った時に「教えてください」「わかりません」を言うなど困った時に助けを求める練習の子は別です。(この言葉を言えば何とかなる！の意識はタブーです！)

スイッチでは(なら)出来るのはなぜ?

答えを教えてくれないので、  
考えるしかない！

←これが、経験を活かす行動に繋がるんですね～。

たったこれだけです!(^^)!

※ 教えてあげる(答えを教えてくれる)状況が一般的ですよ！

スイッチは社会と卒業後の生活の為に、厳しいんです★

※ 個人個人で対応法が違うのは、当然です！ 常に何でもかんでも厳しいわけではないです！

# <ペア行動>

ミッションボード、トライアスロン練習などをペアでも行いました。

ペアで行う メリット: 協調性 / 待つ / 協力性 / 同調性 の向上

デメリット: 特になし! <強いて言うならば、1人でも苦手な事を相手に合わせるというムズムズ感>

1人行動、チーム行動、ペア行動はそれぞれ特徴があり、各場面で様々な様子が見られます!

特性を重視し、個を尊重することに添うと、苦手な事よりも得意を活かそう!の目線になります。

ただ、スイッチとしての考えは、「やってみないとわからない!」「チャレンジをしたからこそ可能性が広がる!」

「失敗を恐れるな!」という目線が学童期は大事だと思います!

現に、**苦手だと思ったことが、やってみたら得意になってるじゃん!** はあるあるです★

スイッチの活動は、この3つが強調されています★  
これらの力がついて来ると、集中力や物事の理解など  
様々な分野においての「相乗効果」も望めます★

- 協調性 (利害や立場の異なる者同士がタイミング等を合わせる事)
- 協力性 (ただ単に力を合わせる事)
- 同調性 (同じような行動や態度を取る事)